グリーン経営取得効果

環境対応が安全にも大きく寄与

燃費、全国平均25%上回る

交通エコロジー・モビリティ財団はこのほどグリーン経営認証取得2年後の効果（トラック・バス・タクシー）を検証し08年度調査分としてとりまとめ公表した。

エコモ財団では運輸事業者に対して環境にやさしいグリーン経営認証制度を薦めており、また、環境負荷低減の実効性を定量的に評価するため06年度から具体的効果の検討を実施し、様々な効果を公表してきた。

検討項目は①燃費、CO_2排出量②低公害車等の保有率③交通事故件数④車両故障件数⑤認証取得事業者の声の5項目。

08年度調査分はトラック・バス・タクシー事業者における昨年集計のデータにこの1年間で新たに更新審査を迎えた事業者のデータを追加集計して行ったもの。

燃費では新規申請時と認証取得2年後の平均燃費を比較した結果、8ﾄﾝ以上のトラックの場合で燃料1ﾘｯﾄﾙ当たり0・14ｷﾛﾒｰﾄﾙ（4・5%）向上しており、8ﾄﾝ未満のトラックでは同0・25ｷﾛﾒｰﾄﾙ（4・4%）の向上が見られた。バスの場合でも同じく0・11ｷﾛﾒｰﾄﾙ（3・7%）、タクシーで同0・18ｷﾛﾒｰﾄﾙ（3・2%）それぞれ向上した。

$CO_2$24万ﾄﾝ削減効果を見込む

09年3月末現在の認証登録したトラック、バス、タクシー事業者数は約2300社で保有車両の総数が15万台を超えている。これらすべての車両に同様の燃費改善効果を期待した場合、CO_2排出量を年間でトラック19万2000ﾄﾝ、バス2万6000ﾄﾝ、タクシー1万7000ﾄﾝの合計23万5000ﾄﾝが削減できるとエコモ財団では推計している。

また全国平均（改正省エネ法で示す事業用貨物自動車の最大積載量別燃費）とグリーン経営認証取得事業者の平均燃費を比較した結果、車種区分（8区分）によって最小3・4%から最大43・5%まで幅があるものの全ての車種区分で全国平均の燃費を上回った。そして全車種区分の加重平均の比較では全国平均より25・3%良い水準を示してもいる。

トラック交通事故前年比26%減に

交通事故件数でも取得前と取得後では改善効果が表れた。アンケート結果によると走行距離10万ｷﾛﾒｰﾄﾙあたりの交通事故件数は認証取得後1年目に前年比でトラック25・9%、バス9・5%、タクシー10・5%それぞれ減少していたことが判った。交通事故件数の減少、燃費の向上など認証取得によるメリットの上位に挙がっており、申請当初から期待した効果を得ていた。さらに副次効果として「職場モラル・士気の向上」「お客様からの評価の向上」「リーダー層の人材育成」といったメリットも生れていたこともアンケートから判った。

認定取得2年後の燃費改善率（平均）

業種	車種	新規申請時 燃費〔km／L〕	更新審査時 燃費〔km／l〕	燃費改善率
トラック	車両総重量8ﾄﾝ以上	3.12	3.26	+4.5%
	車両総重量8ﾄﾝ未満	5.70	5.95	+4.4%
バス		2.83	2.94	+3.7%
タクシー		5.45	5.63	+3.2%